【6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大と食育】

令和2(2020)年5月から6月に内閣府が実施した「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意 識・行動の変化に関する調査」では、家族と過ごす時間が増えたと回答した人が、全体の70.3%(図51)。 さらに、新型コロナウイルス感染症の影響下において、16.0%が「本格的な趣味(芸術、料理等)に新たに 挑戦した」と回答しており、新たに料理作りに取り組む人も見受けられる(図52)。

また、緊急事態宣言(令和2(2020)年4~5月)下で実施されていたテレワークの取組が令和2(2020)年 12月の段階でもある程度維持されていたことが示されているが、東京都23区と地方圏ではテレワーク実施率 に大きな差がある(図53)。

「あなたご自身の現在の食生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか。」とい う質問に対し、自宅で料理を作る回数と自宅で食事を食べる回数が「増えた」と回答した人の割合はそれぞ れ26.5%、35.5%となっている(図54)。ただし、自宅で食事を食べる回数について、都市規模別では、

「増えた」と回答した人が東京都区部では約5割であった一方、小都市、町村では約3割で、「変わらない」 が6割以上となっている(図55)。

70.3 全体 (2,168人) 23.5 22.2 24.6 20.2 2.3 0 50 70 10 20 30 40 60 80 90 100(%) 家族と過ごす時間が増えた 大幅に増加(51%以上増加) 増加(21%~50%増加) ● やや増加 (6%~ 20%増加) ■ 概ね変化ない(5%減少~5%増加) やや減少(6%~20%減少) ■ 減少(21%~50%減少) 大幅に減少(51%以上減少) わからない

図51 家族と過ごす時間の変化(18歳未満の子供がいる世帯)

資料:内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2(2020)年5~6月実施) 出典:農林水産省「令和2年度食育白書」



図52 新たに挑戦したり、取り組んだりしたこと

資料:内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2(2020)年5~6月実施) 出典:農林水産省「令和2年度食育白書」



資料:内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2(2020)年12月実施)

出典:農林水産省「令和2年度食育白書」

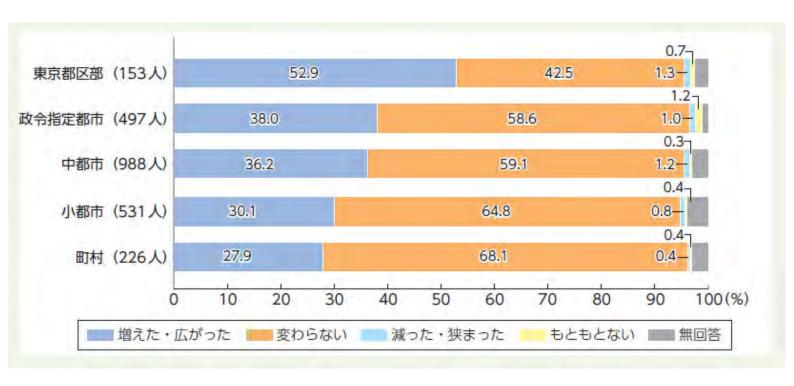
50 60 70 80 90 100 (%) 10 20 30 40 2.1 1.7— 12.8 80.2 (1) 栄養バランスのとれた食事 6.0 1.3— (2) 自宅で料理を作る回数 26.5 63.1 0.5 (3) 自宅で食事を食べる回数 35.5 60.0 1.0 -20.0 4.5-(4) 家族と食事を食べる回数 67.3 -2.8-4.4 (5) オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること 11.1 77.9 4.5 7.8 (6) おいしさや楽しさなど食を通じた精神的な豊かさ 7.4 76.6 (7) 地場産物の購入 9.7 74.3 2.5- 9.5 1.8 12.8 (8) 通販 (オンライン) を利用した食品購入 29.7 51.8 (9) 食事作りに要する時間や労力 16.1 71.1 1.6 - 7.8 4.6 1.0-(10) 食品の安全性への不安 13.1 77.8 6.6 (11) 安定的な食料供給への不安 18.9 69.6 1.3-5.2 1.3-(12) 食に関する情報の入手 12.9 77.2 2.5 2.7— (13) 規則正しい食生活リズム 9.3 82.5 (2,395人) ■ 増えた・広がった 変わらない 減った・狭まった もともとない | 無回答

図54 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う食生活の変化

資料:農林水産省「食育に関する意識調査」(令和2(2020)年12月実施)

出典:農林水産省「令和2年度食育白書」

図55 自宅で食事を食べる回数の変化(都市規模別)



資料:農林水産省「食育に関する意識調査」(令和2(2020)年12月実施)

出典:農林水産省「令和2年度食育白書」